

16  
3  
44

火夫教科書

造船所諸機械  
名稱及功用

16  
44

東泉圖書朝				
冊	號	架	函	類
5	4	2	1	

# 火夫教科書

送船所諸機械  
名稱及効用

No 12612

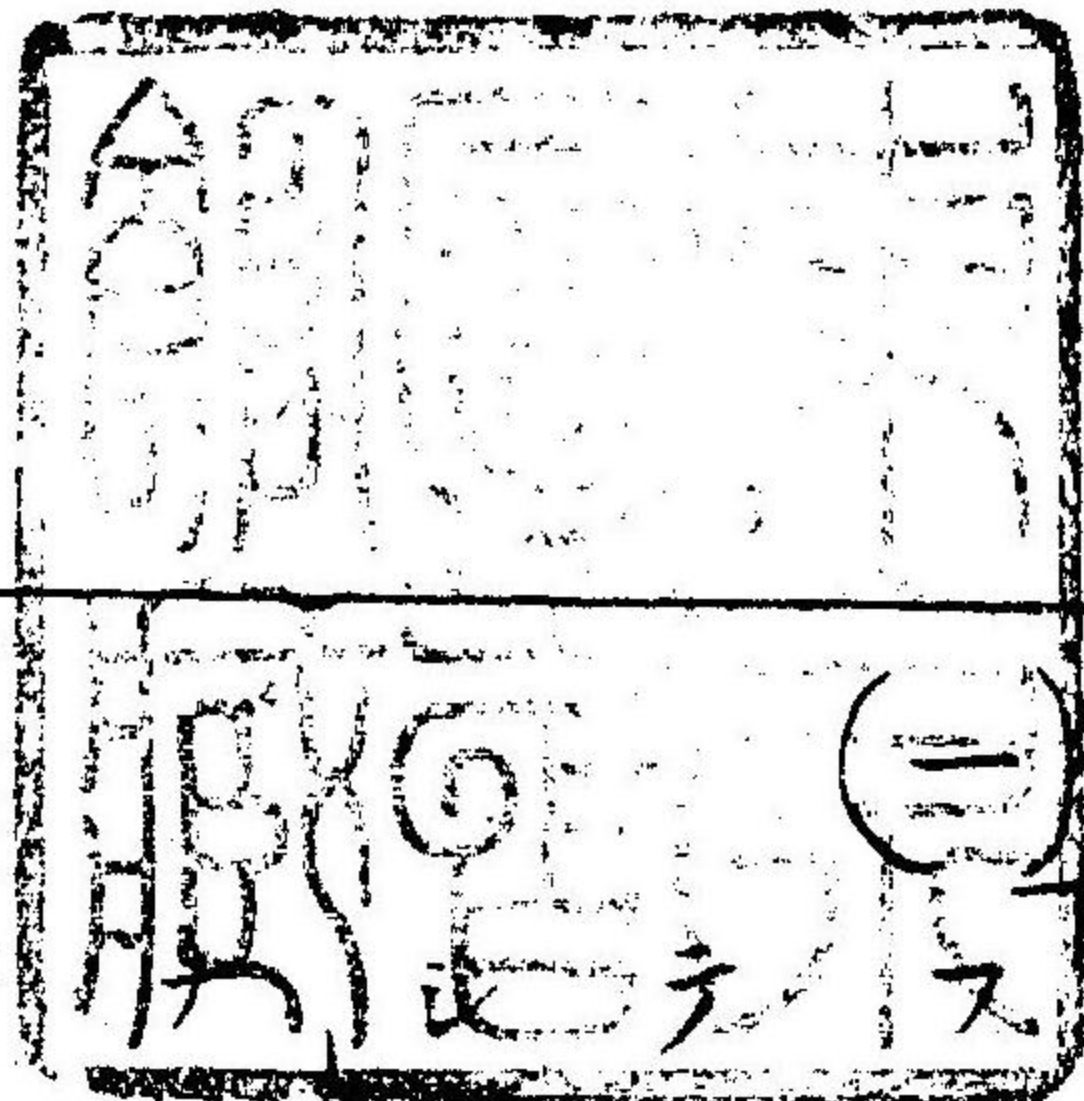


教科書

造船所諸機械  
名稱及効用



海軍機關學校



造船所諸機械名稱及効用

ワントハ多量ノ空氣ヲ通ハスノ器械ニシ  
鍛鐵所及ビ鑄物所等ニ装置シ其ノ「  
及ビ鑄鑪ニ空氣ヲ送り以テ火氣ヲ強盛  
テシメ鍊鐵ヲ軟カクシ或ハ鐵鑪ヲ溶解セ  
シムル「  
流通ノ特ニ烈シキヲ要スル場合ニ此ノ器械  
ヲ使用スルナリ

(二)

「  
鍛鍊スルノ機械ニシテ、人力ニテ爲シ能ハヌ  
仕事ハ皆此ノ「  
ナリ其装置ハ鋸ノ代用ヲナス所ノ重キ堅固  
ナル鐵塊ヲ蒸氣ノ力ニテ舉上レ而シテ其ノ

重量ニ因テ容易ニ鍛鍊スベキ鐵ノ上ニ落下セシメ、之レヲシテ意ノ如クノ形ヲ採ラシムルナリ

(三) フォーシトハ鍛冶手ガ金屬類ヲ紅熱セシメル爲メニ火ヲ起ス器具ナリ而シテ鍛鐵所ニ於ケル如ク數箇ノ「フォーシ」ヲ裝備シアル場所ニテハ總テ「フォーシ」ハ「パイプ」ノ仕掛ニテ「フワント」交通シ、各自「コック」ヲ備ヘテ以テ空氣流入ノ度ヲ調制シ、自由ニ火勢ヲ加減シ得サシムルヲ常トス

(四) レガ、ワリーブリー、フワーネストハ鍛冶手ガ通常ノ「フォーシ」ニテハ舉行シガタキ程ノ大形ノ鐵塊及ヒ棒等ヲ紅熱セシムルキ或

ハ又製罐者ガ大ナル鐵板等ノ仕事ヲ爲スタメ之レヲ紅熱セシムルキ等ニ使用スル特種ノ火爐ナリ此ノ火爐ハ「フワシ」ノ仕掛ヲ備ヘズ、且其ノ構造ノエ合ニ由リ火熱ヲ鐵塊或ハ鐵板ノ上ニ反射セシメ斯クシテ非常ノ熱度ヲ生スル様ニ爲シタルナリ

(五) クレインハ重キ物體ヲバ引キ舉ゲル器械ニシテ諸工場ニ大概ハ裝備シアルナリ譬へハ重キ物品ヲバ陸揚ゲスルキ或ハ大形ノ鐵塊ヲ「レガワリーブリー」トリ、「フワーネ」ノ中ニ出シ入レスルキ或ハ又鑄物所ニ於テ「鋸鐵」ヲ滿タシタル「坩堝」ヲ運搬スル等總テ如斯キ場合ニ使用スル者トス而テ其ノ構造ハ車輪齒

車及び鏈等ヨリ成ルクレインハ自個ノ腕ノ  
 達シ得ル式ノ範圍内ナラバ何レノ處ナリ  
 其ノ引キ舉ゲタル物品ヲ卸シ得ルナリ  
 (六) モールディングボックスハ一名「ラスト稱シ  
 鑄物所ニ於テ用エル粗造ノ鑄鐵製ノ匡ナリ  
 而テ其ノ効用ハ模型ノ形ヲ存スル所ノ土砂  
 ヲ有ツ爲メナリトス其ノ法タルヤ模型ヲ鐵  
 匡ノ中ニ置キ、鑄物用土砂ヲ其ノ周圍ニ詰メ  
 入レ然ル後模型ヲ除ク其ハ土砂中ニ其ノ形  
 ヲ止ルナリ  
 (七) コアトハ矢張鑄物所用ノ品ニシテ即チ鑄  
 形ノ中實ニ使用スル者ナリ其ノ質ハ粘土及  
 ビ砂土等ニシテ之レヲ要スル所ノ形ノ中實

(=)

ニ作り充分乾燥シタル所ニテ鑄形ノ中ニ入  
 レテ其ノ中實トスルナリ  
 (八) キエウポラハ鑄物所ニ於テ鐵ヲ融解セシ  
 ムル火爐ニシテ「フワン」ヲ用テ空氣ノ流通ヲ  
 強盛ニシテ火勢ヲ烈シクスルノ仕掛ヲ備  
 フ  
 (九) エヤー、フワー、ネストハ銅及び黃銅等ヲ溶解  
 セシムル火爐ニシテ別ニ「フワン」ノ仕掛ヲ装  
 置セス只通例ノ火爐ニシテ空氣ノ自然ノ流  
 通ヲ良クシタルノミナリ是レ蓋シ以上ノ金  
 屬ハ鐵ノ如ク強キ熱度ヲ要セザルニ由ル  
 (十) 「レイドルト」ハ坩堝ノ大形ナル者ニシテ鑄物  
 用ノ溶解シタル金屬ヲ容レル鐵製ノ器ナリ

(=)

其ノ内面ニハ粘土ヲ厚ク衣セ置キ以テ熱ノ外方ニ傳導セラレ、ヲ防クナリ

(土) レゾトハ旋盤所及ビ模型所等ニ多ク備ヘアル機械ニシテ木及ビ金屬ノ棒ナドニ真圓形ノ仕上ヲナスニ使用ス此ノ機械ニ於テハ工作セラレベキ品物ハ旋回シ「ワール」即チ品物ヲ削ル爲メノ道具ニ因テ意ノ如キ形ヲ品物ニ與フルナリ故ニ該「ワール」ハ毎回轉タビニ少シク「前」ニ進マズシ「バール」ベカラザルヤ明カナリ「ワール」ノ此ノ工合ハ手加減ニテ調理スル「ア」リ又ハ機械的装置ヲ施シテ自働性ナラシムル「ア」リ而メ又「ワール」ハ工作品ニ對シ如何ナリ「要」セラル、位置ヲ有テ

得ベク即チ仕事ノ工合ニ因テ之レヲ直角ニ置ク「又」ハ斜ニ置ク「工」作人ノ望ム通りニ爲シ得ベキナリ

「レ」ゾ「中」ツ「ワール」ノ取附ケアル部分ヲ「ス」ライド、レストト稱ス而シテ又「ス」ライド、レストノ装置ナキモノヲ「ハンド」レスト云ヒ此ノ種ノ機械ニ在テハ工作人自カラ「ワール」ヲ握リ保持スル者トス

(三) ホーリング、マシーン物體ニ孔ヲ刻リ明ケル用ノ機械ニシテ其ノ運動ノ工合ハ殆ンド「レ」ゾト相反ス此ノ機ニ於テハ工作セラレベキ品ハ動カズシテ「ワール」ガ旋回ヲナスナリ、「ワール」ハ「ボ」ーリング、バート稱スル旋回スル

所ノ棒ニ固着セララル、カ左モナクバ「ボリ  
シグ、バ」ノ上ヲ運動スル所ノ「ボリシグ、ヘ  
ッド」ニ取り附ケラル、ナリ蓋シ初ノ装置ニ  
テ「ハバ」ハ一回轉毎ニ要スル所ノ「ワ  
ール」ノ進行ヲ司リ、其ノ軸ノ方向ニ於テ要セラ  
ル、夫ノ進行ヲ爲スト、雖氏次ノ装置ニテ「ハ  
バ」ハ此ノ進行ヲ爲サバ「ル」ナリ  
小孔ヲ明ケルニハ通常「ワール」ヲ「ボリ  
シグ」ニ取り着ケ「バ」ハ「ボリシグ、ヘ  
ッド」ト共ニ進行ス然ルニ「瀧筒」及ビ其ノ他  
同様ノ品ニシテ大径ノ孔ヲ刻リ明ケルカ如キ  
場合ニテ「ハ」ワールハ「ボリシグ、ヘ  
ッド」ニ固着セラレ、之レノミ適宜ノ進行ヲ爲  
スナリ

(四)

(三)

機械ノ「フキ」ドナル者ハ機械一回轉毎ニ「ツ  
ール」ガエ作品ニ向テカ又ハエ作品ガ「ワール  
ニ向テ進行スル距離ヲ云フ、譬へハ「ドリ、シ  
グ、マシ」ニ在テハ每旋回度ニ「ワール」進行  
ノ度ヲ云ヒ「プレ」ニシグ、マシ「シ」及ビ「シエ  
ー」ピン「グ、マシ」ニ於テハ每「ストロ」クニ  
「ワール」ノ進行スル距離ヲ云フ、或ハ又「ス  
ロ」ツチ「シグ、マシ」等ニ於テハ「ストロ  
ド、プレ」ニシグ、マシ「シ」等ニ於テハ「ストロ  
ク」毎ニエ作品ガ「ワール」ノ方ニ進行スル距  
離ヲ云フ

(四)

「スロ」ツチ「シグ、マシ」ハエ作品ニ關シ種々ノ  
仕事ヲ成ス機械ニシテ或ハ小形ノ者ノ表面

ト)



(四) ヲ要スル所ノ形ニ削ルヲアリ、又ハ真圓形ヲ除クノ外種々ノ形ヲ有スル孔ノ仕上ゲヲナス等、其ノ成シ得ベキ仕事ハ甚ダ多シ此ノ機械ニテハ「ワッ」ルハ上下ノ運動ヲナシ而シテ工作品ハ要スル所ノ進行ヲバ其ノ仕上ケスベキ形ニ準シ如何ナル方向ニモ爲シ得ルナリ  
 (五) プレーニング、マシーンニ於テハ工作品ガ平ノ運動ヲナシ而シテ「ワ」ルガ縦横何レナリト要セラル、通りノ進行ヲ爲ス此ノ機械ハ工作品ノ表面ヲ平ニ削ル爲メニ使用ス  
 (六) シェーピング、マシーンハ種々ノ仕上ゲヲナス機械ニシテ此ノ機械ニテハ工作品ハ動カ

(五)

(七) スクローピング、マシーンハ「ボール」ト及ビ「ナット」等ニ螺旋條ヲ附ケル爲メノ機械ナリ「ボール」トニ螺旋條ヲ附スルニハ「ボール」トハ旋回シテ適當ノ螺旋形ノ中ヲ通過ス而シテ「ナット」ニ螺旋條ヲ刻ム「ナット」ハ動カズシテ螺旋ヲ附スル「ワ」ル即チ「ナット」ハ旋回シテ「ナット」ノ中ヲ經過シ之レニ螺旋條ヲ刻ムナリ此ノ機械ニ於テハ一旋回毎ノ「ワ」ルハ刻マルベキ螺旋條ノ「ピッチ」ニ等シキ「明」カナリ  
 (八) ドリ、ング、マシーントハ金屬及ビ木類ニ孔

(六)

(九) ヲ鑢通スル爲メニ用ユル機械ニシテ縦ニ装  
 置シタルモノモ横ニ装置シタルモノモナル  
 ナリ何レノ装置ニテモ「ワ」ル旋回シテ適宜  
 ノ「フ」井「ド」犬ヶ進行シ而シテ工作物ハ動カ  
 サルナリ  
 (十) グライインデング、ストーションハ太鼓形ノ砥石ニ  
 シテ各種ノ「ワ」ルヲシテ銳利ナラシムルノ  
 用ヲナス此ノ砥石ハ中心ヲ貫キテ適當ノ軸  
 ヲ裝備シ「プ」リ「リ」及ビ帶ノ仕掛ニテ回轉ス  
 ルナリ  
 (十一) トラベラ「ハ」鏈及ビ齒車等ヨリ成リ立ツ機  
 械ニシテ稍ヤ「ク」レ「シ」ニ類似ス其ノ効用ハ  
 機械組立ノ際或ハ其ノ他一工場内ニテ機械

(十二) ノ重キ部分ナドヲ運搬シ或ハ釣リ上ゲル「ト」  
 ヲ要スル時ニ當リ容易ニ之レヲ行ハシムル  
 ニアリ「ト」ラベラ「ハ」工場ノ天井ニ於ケル木  
 材ニ装置シアリテ「レ」ル及ビ小形ノ車等ノ  
 仕掛ニテ工場ヲ縦横ニ運行シ其ノ引キ揚ゲ  
 タル物品ヲ何レノ所ヘナリト下シ能フ蓋シ  
 其ノ「ク」レ「シ」ニ比シテ利益アルノ點ハ工場  
 ノ地面ヲ少シモ塞ク「ト」ナクシテ遠距離ニ達  
 シ得ルノ一事ニアリ  
 (十三) シヤリング、マシオン「ハ」一般ニ製罐用ノ鐵板  
 及ビ薄キ金屬等ヲ截断スルノ機械ナリ而シ  
 テ通例「パ」ンチング、マシオン「ト」稱スル罐板其  
 ノ他金屬板ニ小孔ヲ壓シ明ケルノ機械ト連

續スルナリ即チ一端ハ「シヤリング、マシリン」  
 ニシテ他端ハ「パンチング、マシリン」ナリ  
 (三)「フラットニング、ローラー」ハ製罐用ノ鐵板等ヲ  
 平坦ナラシメ或ハ之レヲ要セラレタル弧形  
 ニ曲ラシムル爲メニ使用スルノ機械ナリ該  
 機械ハ三個ノ「ローラー」ヨリ成リ其ノ中二個  
 ハ同水平線ノ位置ヲ有テ而シテ残りノ一個  
 ハ右ノ二個ノ上ニ裝置セラル  
 (三)「ローリング、ミル」ハ二個ノ「ローラー」ヲ上下相  
 接近シテ裝置シタル一ノ機械ニシテ金屬板、  
 延板鐵棒等ヲ製作スルノ効用ヲ有ス  
 (四)「サーキユラー、ソー、カッティング、マシリン」(金屬用)  
 ハ金屬ノ物品ヲ截断スル爲メノ一ノ圓形ノ

鋸ナリ此ノ機ハ極ク細微ノ齒ヲ備ヘ又ハ全  
 ク齒ヲ備ヘザル「モア」リ而シテ非常ノ速力  
 ニテ回轉シ以テ金屬類ノ品物ヲ截断ス  
 (二五)「チエウグ」又ハ「パイプ、テストング、マシリン」ハ  
 總テ管及ビ筒等ノ品質ヲ検査スルノ機械ナ  
 リ今管ヲ試験セントスルニハ其ノ兩端ヲ密  
 閉シ而シテ後所要ノ蒸氣力或ハ水壓力等ヲ  
 管内ニ誘テ管ノ能ク之レニ耐ヘルヤ否ヤヲ  
 検査スルナリ  
 (二六)「ローラー、エキスパンダー」是ニ「コーン、ドリフ  
 ト」ハ兩ツナガラ「瀛罐」チエウグ、プレートニ「烟  
 管」ヲ固着セシムル用ノ道具ナリ「ローラー、エ  
 キスパンダー」ハ三個ノ「ローラー」ノ裝置ヨリ

成ル器械ニシテ、之レヲ烟管ノ口ニ入レ其ノ  
端ヲ壓シ擴ケ以テ「チエウブ、プレート」ニ密着  
セシム「コーン、ドリフト」ハ簡單ナル道具ニシテ  
其ノ使用ノ方法ハ管端ニ打チ込ミテ之レヲ  
壓シ擴グルニアリ

(七)「ワロー、ベシチ」ハ径ノ不同ナラザル正形ノ管  
ヤ又ハ大小種々ノ針金ヲ製作スルノ機械ナ  
リ該機械ハ極メテ堅固ナル「フレーム」ヨリ成  
リ立チ管或ハ針金ハ適當ノ形ヲ通過シテ引  
キ出サレ、之レガ爲メニ所要ノ太サヲ管或ハ  
針金ニ與ルモノトス蓋シ「フレーム」ハ特ニ堅  
固ニセラレタルハ右ノ緊張ニ耐ヘシムル爲  
メトス

(六)「パイプ、ベンディング、マシーン」ハ管ヲ曲ゲル機  
械ナリ此ノ機械ニテ管ヲ屈曲セシムルニハ  
先ツ管ノ中ニ鉛ヲ盈シ屈曲ノ爲メ強大ノ壓  
力ヲ加フルルニ際シ其ノ壓シ潰サル、ヲ豫  
防シ而シテ後管ノ曲ラシメント欲スル部分  
ヲ「レバ」ニ當ラシメ強大ナル力ノ機械  
ニテ管ヲ屈曲セシム此ノ際管ノ他ノ部分ハ  
機械臺上ニ取り附ラレアルナリ

(2)

K.	J.	I.	H.	F.	E.	D.	C.	B.	A.	ス
エ	ア	ハ	ビ	ハ	ス	ス	ス	ス	フ	ス
キ	ン	ム	ス	ン	ラ	ラ	ラ	チ	レ	チ
ゾ	ビ	マ	ト	ド	イ	イ	イ	ー	ー	ム
ー	ル	、	ン	ル	ド	ド	ド	ム	ム	ム
ス	即	ヘ	、		ウ	ウ	ウ	、		マ
ト	チ	ッ	ド		ワ	ワ	ワ	パイ		ー
パ	鐵				ル	ル	ル	プ		
イ	砧				ブ	ブ	ブ	即		
ア					コ	コ	コ	チ		
					ン	ン	ン	蒸		
					ネ	ネ	ネ	氣		
					ク	ク	ク	ノ		
					チ	チ	チ	入		
					ン	ン	ン	リ		
					グ	グ	グ	来		
					、	、	、	ル		
					ロ	ロ	ロ	管		
					ッ	ッ	ッ			
					ド	ド	ド			

圖解

(カ)

(3)

A. 火ヲ燃ヤス所即チ火爐  
 B. グラスト、パイプ C. ナル地下ノ管ヲ以テ  
 D. フロント交通ス  
 E. 空氣ノ流入ヲ司トリ火勢ヲ加減スル所  
 ノ「コック」或ハ「ガワル」

(十)

(4)

A. レ「ヴ」ベレトリ、フワーネス  
 B. ストリック、ホール  
 C. アリュピット  
 D. フワーネス  
 E. フワーネスノ頂部

(5)

F. フワーネスノ底部ニシテGナル工作物  
 H. ヲ熱紅スル爲メニ置ク所  
 I. 火烟及ビ熱シタル氣體類ノ逃レ出ル通  
 J. 烟突  
 K. スチーム、ハンマー  
 L. 「」ヲ働カス蒸氣罐  
 A. クレイン、ポスト即チ「」ノ柱  
 B. ビーム名ダ  
 C. ガイヤゴナル、ステ「」即チ斜ニ裝備セル  
 D. 支へ  
 E. ナル滑車ヲ通過スル所ノ物品引キ揚

(二)

ゲ用ノ鏈ニシテ其ノ一端ハFナルスパ  
ー、ホキールト同シ軸ニ於ケル圓筒ニ捲  
回セラル

G Hナルハンドルト同軸ニ取り着ケラレ

タルピニオン  
I ハンド、ホキールニシテ之ヲ回轉スル

一ニ因テ  
J ナルウワームトホキールヲ動作セシム

而テホキールノ軸ニチエーシ、バレルア  
K ナル鏈ヲ之レニ捲キ、此ノ鏈ヲ捲キ附ケ

ルカ又ハ弛メルカスル一ニ因テ引キ揚  
ゲタル物品ヲバビームBノ中心ノ方へ

ナリト外ノ方へナリト何レノ方向ニナ  
ナリト運バシ得ルナリ

工場ノビームニシテクレインハ之レニ  
I 因テ回轉ヲ爲シ能フ者トス

A レイズノ臺  
B ハ滑車及ビ齒車等ヲ合シテ總稱ヲヘッド、

ストップト云フ  
C テイル、ストップク  
D スライド、レスト即チワールヲ支持スル

所  
E ハ「サドルト稱スル者ニシテ齒車ニ因テ

A レイズノ臺

B ハ滑車及ビ齒車等ヲ合シテ總稱ヲヘッド、

ストップト云フ

C テイル、ストップク

D スライド、レスト即チワールヲ支持スル

E ハ「サドルト稱スル者ニシテ齒車ニ因テ

旋回スル螺旋條ノ仕掛ニテ臺ノ一端ヨ  
リ他端ニ至ルヲ得

FGH.

ハ齒車ノ装置ニシテ之レヲ自働ノ仕掛

トナシ之レニ因テ「フ」ヲ司トル

I.

ハEナル「サ」ヲ手ニテ動カス爲メノ

「ハンド」ニシテ

J.

ナル「ラ」ニ啗ミ合フ所ノ「ピ」ニオンヲ回

轉ス

K.

ハ滑車ニシテ機械ノ速カヲ變換スル爲

メノ用ナリ

L.

「ベ」ク、ギヤ「リ」

M.

「マ」ンドリ「ル」

N.

「ツ」ライベ「ン」ク、チヤ「ッ」ク

O. ハ工作物ヲ留メル所

(12)

「ホ」ーリング、マ「レ」ー「ン」

機械ノ臺

B.

「ホ」ーリング、バ「ー」ヲ支持スル所ノ「ベ」ヤリ

A.

「シ」グ

C.

「ホ」ーリング、バ「ー」

D.

「ホ」ーリング、バ「ー」ヲ回轉スル所ノ「ウ」ワ「ー」

ム、ホ「井」ールニシテ「ウ」ワ「ー」ムニ因テ働作

セラル

E.

右ニ述ベタル「ウ」ワ「ー」ムニ運動ヲ傳フル

滑車

F.

ハ齒車數箇ノ装置ニシテ「ホ」ーリング、バ「ー」



I. H. 「  
 ボーリング、ヘッド」  
 「  
 ヴォール」

(14) スロツチング、マレイン  
 A. 機械ノフレーム  
 B. 工作品ヲ取附ケル臺  
 C. 機械ノ旋回速力ヲ變換セシムル爲メノ滑車  
 D. 右ノ滑車ト同軸ニ於ケル齒車ニシテ、其ノ旋回スルニ從ヒ運動ヲ  
 E. ナル齒車ニ移シ又此ノ車ハ

(15) プレイン、マレイン  
 A. 機械ノフレーム  
 F. ナルクランク、デスクヲ回轉シ終ニ運動ヲクランク、ピン及ビ  
 G. ナルコンネクチング、ロッドニ傳へ最後ニ  
 H. 部分ニ上下ノ運動ヲ起ス  
 I. Hノ下端ニ在ル「  
 ヴォール、ホルダー」即チ  
 「  
 ヴォール」ノ取り着ケ所  
 J. V形ノガイドニシテ之レガ爲メニH部  
 ノ運動ヲシテ真直ナラシム  
 K. ハフ、リードヲ司ドル装置ニシテ之レニ  
 因テBナル臺ハ所要ノ運動ヲナス

(14) スロツチング、マシーン  
 I. H. ボーリング、ヘッド  
 「」ノ中ヲ通過スル所ノ螺旋條Gヲ旋回  
 セシムル「」ニ因テ「」ヲ井ードヲ司トル  
 「」

(14) スロツチング、マシーン  
 A. 機械ノ「」  
 B. 工作品ヲ取附ケル臺  
 C. 機械ノ旋回速力ヲ變換セシムル爲メノ  
 滑車  
 D. 右ノ滑車ト同軸ニ於ケル齒車ニシテ、其  
 ノ旋回スルニ從ヒ運動ヲ  
 E. ナル齒車ニ移シ又此ノ車ハ

(15)  
 F. ナル「」ラック、デス「」ヲ回轉シ終ニ運動  
 G. ナル「」コンネクチング、ロッドニ傳へ最後ニ  
 H. 部分ニ上下ノ運動ヲ起ス  
 I. Hノ下端ニ在ル「」ワール、ホルダー「」即チ  
 「」ノ取り着ケ所  
 J. V形ノ「」ガイドニシテ之レガ爲メニH部  
 ノ運動ヲシテ真直ナラシム  
 K. ハ「」井ードヲ司ドル装置ニシテ之レニ  
 因テBナル臺ハ所要ノ運動ヲナス

(15)  
 A. プレ「」ニング、マシーン  
 機械ノ「」ム

B. 工作品ヲ取り着ケル臺ニシテ平ニ往復

ノ運動ヲナス

「ワール、ホルダー」ヲ取り附ケタル「サッドル

「ワール

「ワール」ヲ上下ニ動カシ得ベキ螺旋條

F. 「ワール」ヲ横ニ動カシ得ベキ螺旋條而シ

テ此ノ兩螺旋條ハ自働性「フ井ード」装置

ニ因テ別々ニ所要ノ通り動カサル、<sup>1</sup>ヲ

得ルナリ

G. 「サッドル」ヲ上ゲ下レスル為メノ装置ニ

シテ之レヲ行フニハ

H. ナル「ハンド」ヲ要スル所ノ方向ニ回ハ

ス<sup>1</sup>ニ因テ成シ得ルナリ

A. シ「エーピング、マシーン」

B. 「V形」ガイドニシテ此ノ上ニ「ワール、ホル

ダー」ヲ支エル所ノ「サッドル」滑動ス

C. 「ワール、ホルダー」ニシテ螺旋ノ仕掛ニ因

テ機械ノ一端ヨリ他端ニ到ルヲ得

D. 「ハフ井ード、ホ井ール」即チ「ストローク

毎ノ「フ井ード」ヲ司トル所ノ車ニシテ右

ノ螺旋條ノ端ニ設ケ該螺旋ヲシテ其ノ

「フ井ード」ノ為メニ要スル式ノ運動ヲ為

サシム

E. 他ノ「フ井ード、ホ井ール」ニシテ工作品

ノ種類ニ従ヒ

F. ナル軸ニ旋回運動ヲ傳ヘルノ用ヲ為ス

G. 運動ヲ起ス所ノ軸即チドライビング、ス

ピン、ドルニシテ

H. ナル「P」リヨリ運動ヲ受ケ

I. ナル車及ビ EDJ ナル「F」ド用ノ装置ニ

K. 適當ノ運動ヲ與フ

ハ「C」ランク、ピンニシテ此ノ「P」ピンヲイナ

ル車ノ中心ヨリ遠サケ或ハ近ツケル

ニ因テ

I. ナル「A」ムノ運動ヲ増減シ得ルモノト

M. ス而ノ此ノ運動ハ ナル「C」ネクチング、ロッドニ因テ傳ヘラ

N. ハ「W」ルヲ動かス所ノ「H」ンドルニシテ

自働装置トスル「A」リ

O. ハ工作品ヲ取り着ケル臺ニテ「H」ンド、ホ

「L」及ビ

P. ナル螺旋條ニ因リ昇降スルヲ得

Q. ハ工作品ヲ臺上ニ取着ケル爲メニ用ユ

「L」ナット及ビ「B」ールト

R. ハ機械ノ「F」レーム

(17) ス「L」イシグ、マシオン

A. ハ機械ノ「F」レームニシテ

B. ナル床ヲ支持ス

(18)

C. ハ B ナル床ノ上ニ備ヘアル装置ニシテ  
 D. ナル中空ノ軸及ビ此ノ軸ヲ通過スル  
 E. ナル旋回スル所ノ軸ヲ支ユ  
 F. ハ「プ」リ「リ」ニシテ之レヨリ運動ヲ  
 G. ナル齒車ニ移シ爲メニ E 軸ニ旋回運動  
 H. ヲ生スルナリ  
 「ハ」ハンド、ホ「井」ル及ビ「ラ」ックニシテ要セ  
 I. ラレタル「キ」E ナル軸ヲ滑動セシム  
 「ハ」E 軸ノ一端ニ設ケタル「チ」ヤックニシテ  
 螺旋條ヲ切ルベキ工作物ヲ保持スル所  
 J. ナル「ド」ッグスヲ備フ而テ此ノ「ド」ッグスハ  
 K. ナル「ス」パン「ナ」リヲ以テ作働セラルル所

(18)

A. ドリ、ハンド、マ「レ」ン  
 B. ハエ工作品ヲ置ク臺  
 N. ハ右ノ「ヂ」ヤウスヲ「調」制スル所ノ「ハ」ンド  
 「ホ」井「ル」  
 「一」ノ「ヂ」ヤウスノ間ニ支ヘラル  
 「而」テ螺旋形又ハ「ナ」ットノ何レニシテモ皆  
 「ト」ニ螺旋條ヲ刻ム「キ」其ノ「ナ」ットヲ支持ス  
 「ニ」螺旋條ヲ刻ム「キ」ニ螺旋形ヲ保持シ「ナ」ッ  
 E. ハ滑動スル所ノ一ノ臺ニシテ「ボ」ール「ト」  
 「セ」ラル  
 「ノ」スク「ル」ノ手立ニ因テ意ノ如ク調制

C. 運動ヲ傳ヘル所ノ「プーリー」  
 D. ハ鑽ノ速力ヲ變更スル爲メノ「プーリー」  
 E. ハDナル「プーリー」ノ軸ニシテ  
 F. ナル齒車ヲ備ヘ以テ運動ヲ之レト啣合  
 スル  
 G. ノ齒車ニ傳ヘ之レヨリシテ終ニ運動ヲ  
 H. ナル鑽ヲ支エル所ノ軸ニ移ス  
 I. ハ鑽ニシテ  
 J. ナル「ハンド、ホッパ」ヲ旋回スルカ又ハ  
 K. ナル自動性「フット」装置ノ働ニ因テ昇  
 降ス而シテ此ノ自動性「フット」装置ハ二  
 「フット」コリン、プーリー「ウワーム」及ビ車ヨ  
 リ成立チ

(21)  
 I. ナル「ナット」ニ運動ヲ與フ故ニ  
 M. ナル螺旋條ハ所要ニ從ヒテ昇降ヲ爲ス  
 者ナリ  
 N. ハ軸及ビ鑽等ノ重ミヲ平均スル爲メノ  
 權衡錘  
 O. ハ機械ノ運轉ヲ起サシメ或ハ停止スル  
 「ハンド」  
 A. レヤリング及ビ「パンチング、マシオン」  
 機械ノ「フレーム」ニシテ堅固ナル鑄鐵製  
 ノ者ナリ  
 B. ハ鐵板ヲ切断シ或ハ孔ヲ明ケル爲ノ場  
 所ニシテ機械ノ「ヂヤウスト」稱ス

C.

ハ孔ヲ明ケル方ノ機械ノ端

D.

ハ切斷スル方ノ端ナリ而メ兩端ニ於ケ  
ル「ワール」ハ堅固ナル「フレーム」ニ取リ着  
ラル

E.

ニ於テ示シタルガ如ク此ノ「フレーム」ハ  
ナル「V」ガイドノ手立ニ因テ真直ノ位置

F.

ヲ維持ス  
ハ「シャフト」ノ末端ニシテ「エクセン  
トリッ

G.

ク形ヲ成セリ而テ  
ナル「シャフト」ノ旋回ニ因リ機械ノ兩端

H.

ノ「ワール」ヲシテ昇降セシム  
ハ「レガイド」ノ重キヲ平均スル爲メノ權

I.

ナリ而メ又此ノ「ダイ」ノ下ニ  
ナル孔ヲ設ケ既ニ鐵板ニ孔ヲ穿テバ鐵

J.

屑ハ地上ニ落サシム  
ハ機械ノ一端ニシテ昇降ノ運動ヲ爲ス

K.

穿孔鑽ニシテ其ノ下ニ  
「フレーム」ニ固ク取リ着ケラレタル切斷

L.

ハ「ブリー」ニシテ「ハリ」ブ「ブリー」  
「ハデッド」ブ「リ」ト名稱ス

M.

ハ「フライ」ホ「キール」  
ハ「ビニオン」ニシテ

N.

ナル齒車ニ啣ミ合ヒヲナス而メ此ノ齒  
車ハ「H」ナル「エクセン」トリッ「グ」シ「ヤフ」トニ

(注)

固着セラレタルヲ以テ機械ノ両端ハ送  
ニ昇降スル者ナリ

(先)

(22)

フ  
ラ  
ツ  
ト  
ニ  
ン  
グ  
、  
ロ  
ー  
ラ  
ー

A. 堅牢ナル基礎ニ取着ケタル二箇ノ堅牢

ニシテ且ツ真直ナルフレーム

B. 右ノフレームノ下部ニ備ヘタル横ニ並

列セル二箇ノローラー而シテ此ノ二箇ノ

ローラーノ上部中央ニ

F. ナル一箇ノローラーヲ装置ス、此ノロー

ラーハ

G. ナル歯車及螺旋條ニ因テ

ナルブロックト共ニ昇降シ得

- E. ハピニオンニシテ汽機ヨリ旋回ノ運動ヲ受ケテ
- D. ナル二箇ノ齒車ニ運動ヲ及ボシ三箇ノローラーヲ旋回セシメ以テ二箇ノローラート上部中央ノローラートノ間ニ扶入レタル工作物ヲ平坦ニシ或ハ屈曲セシムルヲ得
- J. ハ鐵板ガローラーノ昇降ニ因テ屈曲セタル所ヲ示ス
- I. ハ平坦ナル鐵板ニシテローラーノ作用ヲ受ケヌ前ノ形ヲ顯ハス

(23)

ロ  
ー  
リ  
ン  
グ  
、  
ミ  
ル

F)



A. 堅牢ナル基礎ニ取着ケタル堅牢ニシテ  
 且ツ真直ナルフレーム  
 C.B. ハ「ロ」ラ「」ニシテ其ノ上部ノ「ロ」ラ「」  
 D. ナル螺旋條ノ手立ニ因テ昇降シ得而テ  
 上下ノ「ロ」ラ「」ハ常ニ  
 E. ナル矢ノ方向ニ於テ左右へ同時ニ旋回  
 スル者ナリ故ニ此ノ両「ロ」ラ「」ノ間ニ  
 紅熱シタル工作物ヲ挿入スルキハ之レ  
 ヲハ  
 F. ニ於テハ丸形  
 G. ニ於テハ正方形  
 H. ニ於テハ平坦形

(三)

I. ニ於テハ「ア」ン「グ」ル「ア」イ「ヨ」ン  
 J. ニ於テハ「丁」字形ノ各種ニ製作シ得ルナ  
 リ

(24)

A. サ「キ」ユ「ラ」ソ「カ」ツ「チ」ン「グ」マ「レ」ン  
 B. ナル鋸ヲ支持ス而メ此ノ鋸ハ  
 C. ナル「プ」リ「」ニ因テ非常ノ速カヲ以テ  
 旋回スルナリ  
 D. 機械ノ運動ヲ始メシメ又ハ停止セシメ  
 ル「」ヲ「司」トル所ノ「」ス「ラ」イ「チ」ン「グ」バ「」  
 F. ハ小径ノ管等ニシテ  
 G. ナル「」ヂ「ヤ」ウ「ス」ニ於テ保持セラレ

E)

(25) I. ハハンドルニシテ歯車及ビラックノ装置  
 ニ因テ切断サレベキ管等ヲシテ其ノ所  
 要ニ準シ鋸ニ近着ケ或ハ遠ガケシムル  
 ノ用ヲナス  
 K. ハ鋸ノ覆ナリ

(25) A. チェウブ又ハパイプ、テスチング、マシオン  
 試験マラルベキ管

B. 鐵板

C. バルカナイズド、インヂヤラバー  
 D. クランブニシテホルルトノ代用ヲ爲ス

E. 水壓唧筒機ノヂスチヤージ、パイプニ連

接セシムル所

(26) ローター、エキスパンダ、及ビエーリンドリフト

第一圖

A. 蒸罐ノ管板

B. 焔管ニシテ其ノ端ノ擴ゲラル、一ヲ要

スル者

C. ローター、エキスパンダ

D. アラックツト

E. テーパー、マンドリルニシテ之レノ旋回

F. ニ因テローラ、モ同時ニ旋回ス

第二圖

ED C. B.A

汽罐管板ノ両端  
焰管

ドリフトト稱スル道具ニシテ其ノ両端ヨ  
リ槌ニテ同時ニ打込ミ以テ焰管ノ端ヲ  
擴カラシム

H.G J.I F. ED C. BA

ワ  
ロ  
ー  
、  
マ  
ン  
チ  
二個ノフレーム  
堅牢ナルステイ  
二個ノ正角形螺旋條ノ棒ニシテ  
ナル齒車ノ旋回ニ因テ  
ナル齒車ニ其ノ運動ヲ傳ヘ終ニ又  
ナル齒車ニ運動ヲ及ボス

L.M K.

Q. P. N.

ハ  
ク  
ロ  
ッ  
ス  
、  
ヘ  
ッ  
ド  
ニ  
シ  
テ  
ナル正角形螺旋條ノ便ニテ二個ノフレ  
ームノ間ヲ運行ス  
ハ  
工  
作  
物  
ヲ  
保  
持  
ス  
ル  
孔  
ニ  
シ  
テ  
ナル孔ト一直線ニシテ  
ナル工作物ヲ伸張ス

A

B. C.

D.

パ  
イ  
プ  
、  
ベ  
ン  
デ  
ン  
グ  
、  
マ  
シ  
ー  
ン  
ハ  
機  
械  
ノ  
フ  
レ  
ー  
ム  
ニ  
シ  
テ  
ナル臺ヲ支持ス  
ハ  
臺  
上  
設  
ケ  
タ  
ル  
半  
圓  
形  
ノ  
ウ  
ワ  
ー  
ム  
、  
ホ  
井  
ナル堅牢ノ軸ニ因テ旋回ス

E ハウワーム、ホヰールヲ旋回スル為メノ

ウワーム、スピンドル」

F. ハ非常ノ力ヲ要セザルニウワーム、ス

ピントトル」ヲ旋回スル」ハンドル」ナリ然レ

ハ稍大ナル工業ニテスピンドル」ヲ旋回

スルニ強大ナル力ヲ要スルニハ

G. ナル齒車、

ナル」ビニオン」及ビ

J. ハ「スタッド」ニシテ其ノ正方ノ端ヲ臺上ノ

或ル正方形ノ孔ニ挿入シ

K. ナル」ロー」ヲスタッド」上部ナル圓形ノ

所ニ挿入シ警ヘバ

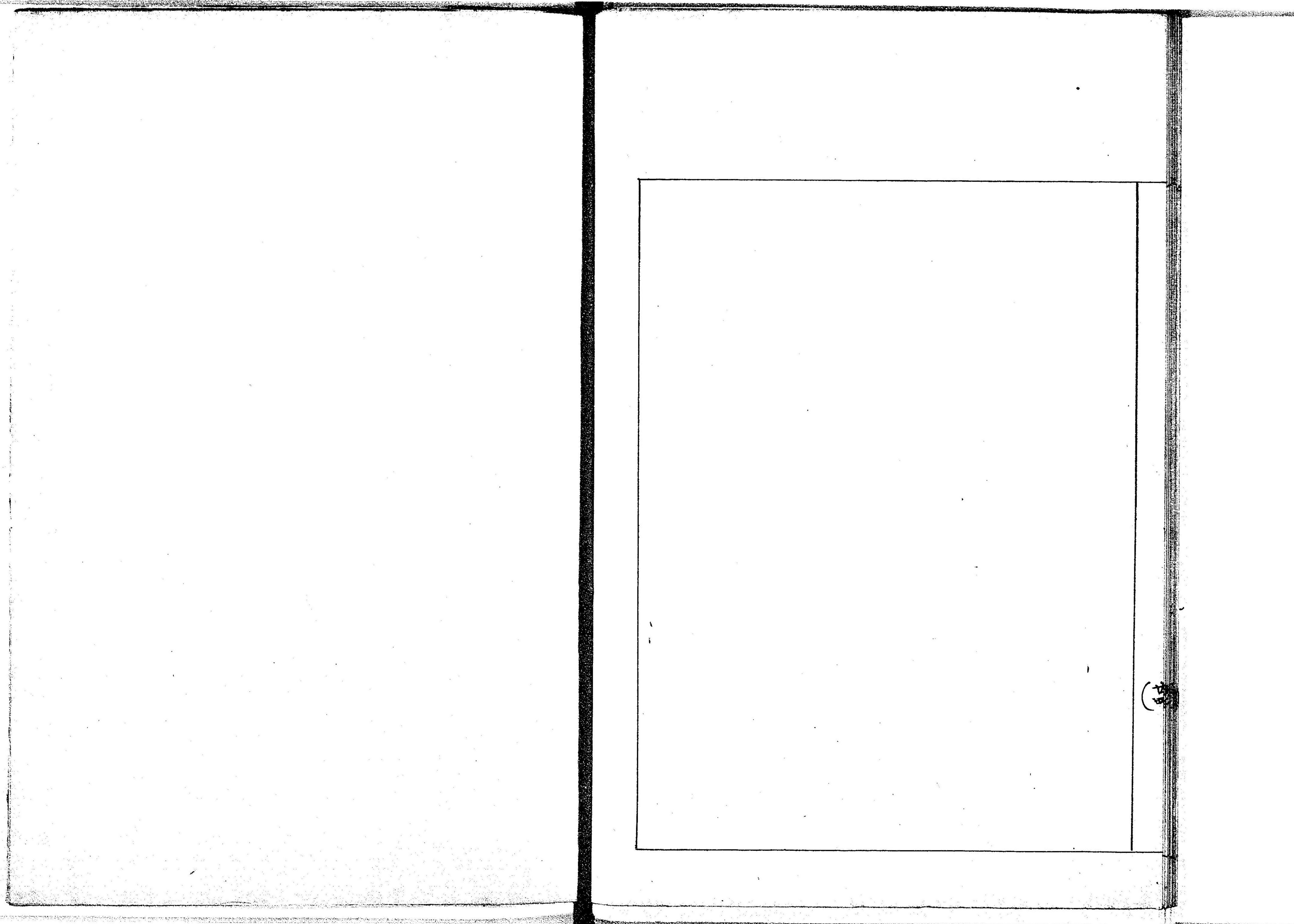
N.M. ノ如クニナシ而メ

O. ナル管ヲ其ノ間ニ置キCナル車ヲ旋回

シ以テ其ノ

L. ノ部ニ因テ管ヲバ意ノ如ク曲ラシム

ハ即チ屈曲シタル管ヲ示ス



16
3
44

